

**製品名:** EphB4 ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab10529

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	108kDa

## 抗原情報

遺伝子名	EPHB4
別名	EPHB4; HTK; MYK1; TYRO11; Ephrin type-B receptor 4; Hepatoma transmembrane kinase; Tyrosine-protein kinase TYRO11
遺伝子 ID	2050.0
SwissProt ID	P54760
免疫原	抗血清はヒト EPHB4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 571-620

## 背景

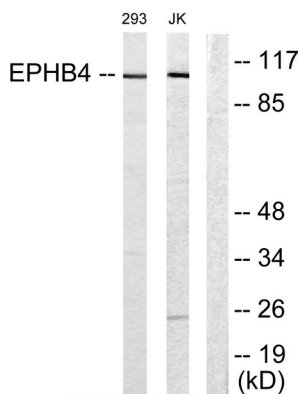
エフリン受容体とそのリガンドであるエフリンは、特に神経系において、多くの発達過程を媒介します。エフリンは、その構造と配

列関係に基づき、グリコシルホスファチジルイノシトール結合によって膜に固定されるエフリン A (EFNA) クラスと、膜貫通タンパク質であるエフリン B (EFNB) クラスに分類されます。Eph ファミリーの受容体は、細胞外ドメイン配列の類似性と、エフリン A およびエフリン B リガンドへの結合親和性に基づいて 2 つのグループに分けられます。エフリン受容体は、受容体チロシンキナーゼ (RTK) ファミリーの最大のサブグループを構成しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質はエフリン B2 に結合し、血管の発達に重要な役割を果たします。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシリン酸。機能: エフリン B ファミリーのメンバーの受容体。エフリン B2 に結合します。分化と発達を媒介するイベントにおいて役割を果たす可能性があります。PTM: 自己リン酸化。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシントタンパク質キナーゼファミリー。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシントタンパク質キナーゼファミリー。エフリン受容体サブファミリー。類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。類似性: SAM (無菌  $\alpha$  モチーフ) ドメインを 1 つ含む。類似性: フィブロネクチン III 型ドメインを 2 つ含む。組織特異性: 胎盤、様々な原発性組織、悪性細胞株に豊富に発現する。胎児脳では発現するが成人脳では発現しない。また、原始造血細胞および骨髄系造血細胞では発現するがリンパ系造血細胞では発現しない。、

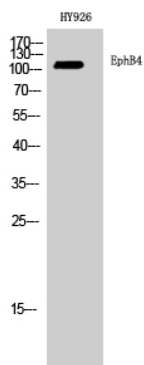
## 研究分野

軸索ガイダンス;

## 画像データ



EPHB4 抗体を用いた Jurkat 細胞および 293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 に希釈した EphB4 ポリクローナル抗体を用いた HY926 細胞のウェスタンブロット解析